

ほっかいどう

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

November 2024

vol.258

令和6年10月発行

11

月号

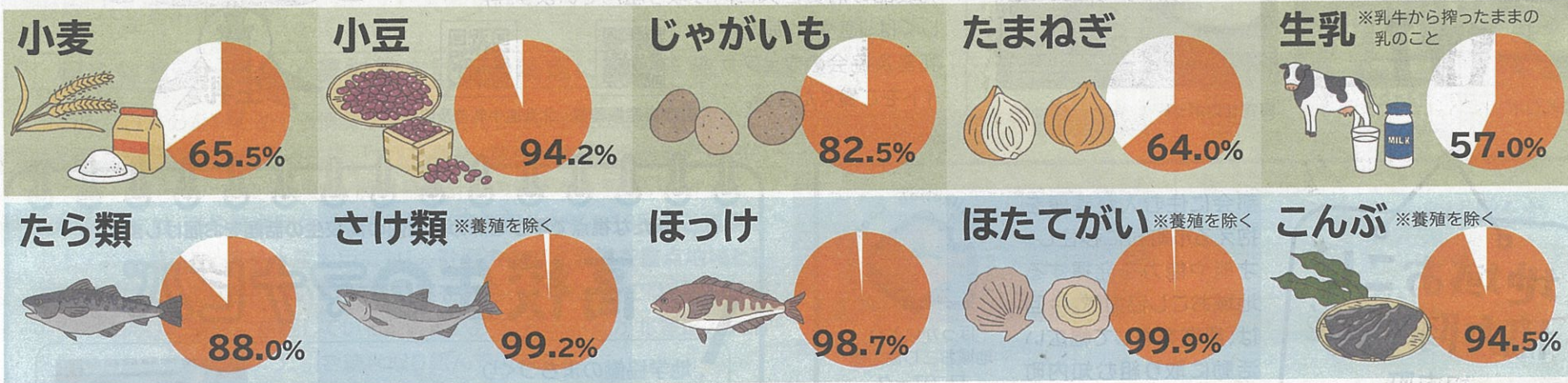
特集

日本の食料供給を支える北海道



北海道は、小麦や牛乳、ホタテやサケなど、多くの農畜産物や水産物で全国一の生産量となっており、日本最大の食料供給地域としての役割を担っています。

北海道が全国1位の主な農畜産物や水産物 (全国に占める北海道の農畜産物や水産物の生産量シェア(令和5年度))



※農林水産省のウェブサイトで公表されている統計データを用いて作成

日本を代表する米どころ北海道

北海道米は、全国トップクラスの作付面積と収量を誇り、さまざまな品種で安定した収量の確保と多様なニーズに応えています。食味ランキングでは「ゆめぴりか」「ななつぼし」が10年以上連続で特Aを獲得し、全国的な評価を受けているほか、北海道米の道内食率(道内の米消費量に占める北海道米の割合)は、目標とする85%を12年連続で上回っています。

令和5年産米の食味ランキング
ゆめぴりか・ななつぼし

特A獲得

※一般財団法人日本穀物検定協会公表

令和5米穀年度
北海道米の道内食率

88%

※令和5米穀年度は
令和4年11月～令和5年10月

このマークが、
北海道産米
食べさせる
シリーズ
おいしいしるし。

道では、北海道米の消費拡大のため、農業関係団体・道内量販店などと連携し、「北海道米プロモーション」を実施しています。

北海道庁メディアポータルサイト

ミササル
Hokkaido Government Media Portal Site

ミササルはこちらから
ご覧いただけます。



WEB限定
コンテンツ
公開中!

広報紙
「ほっかいどう」
ウェブサイト



北海道広報番組

「ほっかいどう」
深掘り
北海道

特集 北海道の食を深掘り!

STV 令和6年10月26日(土)
あさ9時25分～(予定)

番組を見逃した方はこちらからご覧いただけます。>>



MC▶ハンバーガーボーイズ

道では、品種改良による生産性の向上や先端技術の導入による省力化に取り組むとともに、道産品の高付加価値化やブランド力の強化、リスク分散に対応した輸出拡大の推進、販路拡大などに取り組んでいます。

新品種の開発



よりおいしく高品質な農産物をつくるためには、品種改良が重要です。なかでもお米は、冷涼な気候下で育つおいしい品種を目指し、道内各地の農業試験場が品種改良の努力を重ね、「ゆめぴりか」や「ななつぼし」などの北海道を代表する品種が誕生しました。一億粒もお米から、たった一粒の優れたお米を見つけ出す品種改良の仕事は、これまでの技術に加え、改良を加速化させるための新たな技術を活用しながら、消費者ニーズと農業の課題に応える新品種を生み出しています。

新たにデビューする北海道米新品種 そらきらり

ことし、市販のお弁当などの「中食」や、飲食店などでの「外食」向けのおいしいお米「そらきらり」がデビューします。「そらきらり」という名前は、この品種の誕生の地である北海道の米どころ空知地方の「そら」と、お米の粒が「きらり」と光って見えることをかけあわせて名づけられました。



家でも外でも北海道米！

- 主な特徴**
 - 中食・外食に適しています**
きらら397と同じく中食・外食向け用途に適した食味特性を持っています。
 - 病気に強くSDGsの達成に貢献**
稲の代表的な病気「いもち病」に対して抵抗性が強く、薬剤の使用回数を減らせるため、環境負荷を軽減できます。
 - 安定して優れた収量性**
北海道のどの地域でも安定した収量が見込めます。

北海道米の主な品種



- 【ゆめぴりか】**
特に粘りの強い品種の一つです。白いごはんそのものを味わうのがおすすめです。
- 【ななつぼし】**
北海道米のなかで最も生産量が多い品種です。味と食感のバランスが良く冷めてもおいしいため、お弁当やお寿司などにおすすめです。



ことし9月の「ゆめぴりか」収穫の様子

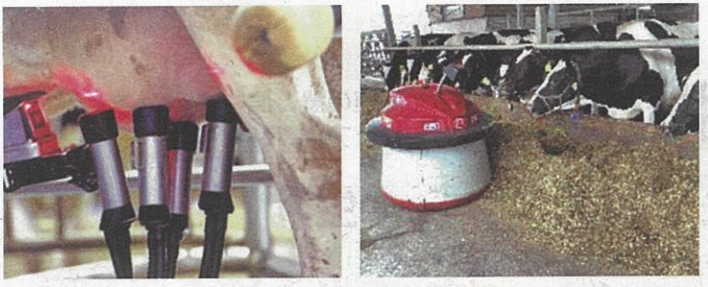
酪農王国北海道

北海道は全国の生乳の約6割を生産しており、酪農は重要な基幹産業の一つです。また、北海道は、日持ちのしない生乳や牛乳、貯蔵できるバター、チーズなどの乳製品を需要と供給の状況に応じて調整しながら、全国に安定的に供給する重要な役割を担っています。

スマート農業技術の取り組み

北海道では、スマート農業技術を活用した酪農の省力化が進んでいます。道では、搾乳ロボットや餌寄せロボットなどの導入、リモートセンシング技術※による衛星画像を活用して、牧草を省力的に栽培する取り組みなどを推進しています。

※作物の生育状況など必要なデータを人工衛星を用いて収集する技術



搾乳ロボット 餌寄せロボット

生乳から生まれる豊富な加工品

生乳からは、牛乳をはじめ、私たちの食卓に欠かせないバターやチーズ、ヨーグルトなどさまざまな乳製品が作られています。

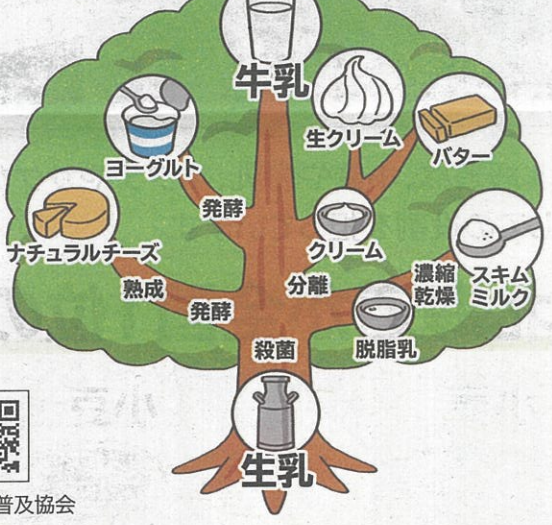
消費拡大の取り組み

道では、北海道牛乳普及協会などと連携して、6月の牛乳月間（父の日に牛乳（ちち）を贈ろう！）でのPR活動や牛乳・乳製品利用料理コンクール、ミルク&ナチュラルチーズフェアなど、牛乳・乳製品の消費拡大に向け取り組んでいます。詳しくは、道や北海道牛乳普及協会のウェブサイトをご覧ください。



道庁畜産振興課 北海道牛乳普及協会

ミルクツリー（主な品目）



地域おこし協力隊Café 知内町

都会に住む人が課題を抱える市町村に移住し、才能や能力を発揮する地域おこし協力隊。今回は、農業を通じて幅広い活動に取り組む知内町の隊員を紹介します。



ニラ農園の事業承継を柱に、前職の経験を生かしてさまざまな活動に挑戦！

旭川市出身 小玉 龍之介さん



金融機関で働いていた時に、知内町にある妻の実家のニラ農園が廃業を検討していることを知りました。事業を承継したいと考えていたところ、

知内町の地域おこし協力隊では、農業経験を積みながら人脈も作れることを知り、応募しました。現在はニラ農家で栽培技術を学びながら、前職の経験を生かし、札幌圏の企業と町内の農家とのビジネスマッチングを行ったほか、新たなふるさと納税返礼品の開発に取り組むなど、さまざまな活動に挑戦しています。



ニラ農園での作業の様子



新たな視点で学びを深める道内の高校生の話題をお届けします。

高校生のマナビバ

地学協働のまちづくり

北海道美瑛高等学校では、総合的な探究の一環として、地域について学びを深める取り組みを行っています。令和6年度には地学協働で持続可能なまちづくりを推進する「MA+CHプロジェクト」の指定校になり、新たな取り組みの検討も進められています。今回は同校がこれまで行ってきた地域との協働活動について紹介します。



北海道美瑛高等学校3年 山内 雅恋さん(左) 高石 瑠乙さん(右)

「豊かな食」など町の持つ魅力を深く知ることができた

「美瑛高生のカフェ巡りマップ」制作の取材で訪れたカフェでは、地元のおいしい食材をメニューに使っているとの話を伺うことができ、地域への愛着を感じました。また、町内の農家ではビートの収穫のお手伝いをしました。ボーリングの球くらいの大きさのビートを引き抜くのは初めての経験で大変でしたが、楽しく作業できました。この活動で学んだ美瑛町の魅力をこれからも多くの人に伝えていきたいです。 北海道教育庁社会教育課 TEL.011-204-5744



「美瑛高生のカフェ巡りマップ」制作の様子



道産水産物の販路拡大

■「食べて応援!北海道」の全国展開

道産水産物の消費拡大キャンペーン「食べて応援!北海道」を昨年秋から全国で展開し、これまでの取り組みの結果、ホタテの国内消費は着実に拡大しています。



■「とれてます!Oh!!さかなフェア」の開催

近年漁獲が増加している、ブリ、マイワシ、ニシンを対象にフェアを開催し、魅力を発信しています。新しい北海道の旬の魚をぜひ味わってください。



道庁成長産業課 TEL.011-204-5464 道庁国際課 TEL.011-204-5343

■アメリカでホタテをPR

道産ホタテの輸出額が昨年比で約1.5倍になっている米国市場に向けたPRの取り組みとして「Hokkaido Premium Night (JETRO主催)」が、ことし8月、ニューヨーク市内のレストランで行われ、ホタテをはじめとした道産食材をメインとした料理と道産ワインや日本酒とのペアリング、さらに鈴木知事のプレゼンテーションを通じて、現地のシェフやレストラン関係者、流通業者、フードブロガーなどにPRしました。参加者からは、道産食材のおいしさや質の高さへの評価の声をいただきました。



アメリカでのPRイベントの様子

北海道どさんこプラザ

「北海道どさんこプラザ」は、北海道が開設するアンテナショップで、道内で製造・加工された道産食品を販売するほか、開発した商品を一定期間販売し、販売後にフィードバックを得られるテスト販売制度の実施など、道内企業のマーケティング支援拠点としての役割を担っています。おかげさまで、昨年度の売り上げは全店舗合わせて約37億円と過去最高となり、ことし7月には、第1号店である有楽町店が開設25周年を迎えました。現在、国内外に18店舗を展開しており、今後、帯広市と旭川市への開設を予定しています。

道庁食産業振興課 TEL.011-204-5766



どさんこプラザ有楽町店



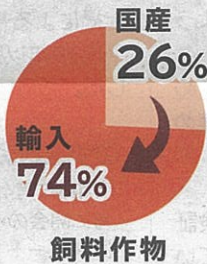
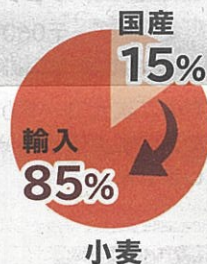
札幌店では、ことし7月からイトインコーナーを設置し、道産ワインとチーズの有料試飲試食、ソフトクリーム販売を開始し、道産食品の魅力を発信しています。

食料安全保障の強化に最大限貢献

北海道の農業は、恵まれた自然と豊かな大地の下で、先人たちのたゆみない努力の積み重ねを礎に、北海道の重要な産業として発展を遂げ、こんにち、大規模で専門的な経営体を主体とする生産性の高い農業が展開されています。

北海道は、日本最大の食料供給地域として、食料安全保障の強化に最大限貢献していきます。

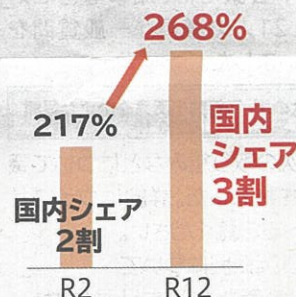
輸入依存度が高い品目



→ 輸入からの置換えを推進!

北海道の食料自給率

第6期北海道農業・農村振興推進計画では、北海道の食料自給率を令和12年度に268%まで向上させることを目指しています。



新たな食料・農業・農村基本計画の策定に関する国への提案

世界及び日本の食料をめぐる情勢が大きく変化していることを受け、国では、食料安全保障の強化などを柱に、「食料・農業・農村基本法」を四半世紀ぶりに改正し、現在新たな食料・農業・農村基本計画の策定を進めています。

ことし7月には、道や農業団体、経済団体、消費者団体などの18団体と道議会のオール北海道で、農林水産大臣に対し、計画の中で北海道を重点地域として位置づけることなどについて、政策提案を実施しました。道では、基本計画の策定に向けた議論に参画しているところであり、基本計画が北海道の実情を反映したものとなるよう、引き続き取り組んでいきます。



農林水産大臣に対する政策提案の様子

特集に関するお問い合わせ/道庁農政課 TEL.011-204-5375

Pick Up!

地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。

北海道内市町村
広報紙(誌)ページ
へのリンク集



十勝総合振興局

十勝海の幸うまいもん祭り

農業王国のイメージが強い十勝ですが、古くから水産業も営まれています。十勝の海の幸を皆さんに知って、味わっていただくため、12月15日(日)に十勝総合振興局で、十勝管内3漁業協同組合主催の「十勝海の幸うまいもん祭り」を開催します。十勝で取れた新鮮な水産物や伝統的な水産加工品を浜値で提供するとともに、パネル展示なども実施します。



お問い合わせ/十勝水産振興会事務局 TEL.01558-2-3131

厚岸町

第62回あっけし牡蠣まつり

厚岸名産のカキをメインにした味覚のまつり「第62回あっけし牡蠣まつり」を11月16日(土)~17日(日)に開催します。会場となる子野日公園ではカキやホタテ、アサリなどの水産物を販売する店舗が並んでいます。炭焼き台を有料で貸し出していますので、購入した食材で手軽にバーベキューを楽しむことができます。



お問い合わせ/厚岸町観光商工課 TEL.0153-52-3131

広報紙

ほっかいどうクイズ

特集 日本の食料供給を支える北海道

広報紙「ほっかいどう」では、プレゼントが当たるクイズ企画を実施。問題は特集から出題します。右の二次元コードからアクセス!





北海道からのお知らせ

道庁からのお知らせなどをお伝えします。詳しくは、各ウェブサイトをご覧ください。

明るい選挙まんがコンクール作品募集中

政治や選挙への若者の関心を高めるため、明るい選挙をすすめる「まんが」を募集しています。対象は道内の高校生・大学生などや15歳以上30歳未満の方。応募締切は12月23日(月)必着です。

北海道選挙管理委員会事務局
TEL.011-204-5153



インターネットの人権侵害に注意!

インターネットやSNSによるプライバシーの侵害、誹謗中傷、デマの配信・拡散などの人権侵害が問題になっています。被害に遭われた場合は、ご自身の希望に沿った相談窓口にお問い合わせください。

道庁道民生活課
TEL.011-206-6148



児童手当制度が拡充されました

10月から児童手当の受給対象者が大幅に拡充され、0歳から高校生年代の児童を養育している方に支給されるほか、所得制限が撤廃されます。申請が必要になる方がいますので、詳細は市役所、町村役場にお問い合わせください。

道庁子ども家庭支援課
TEL.011-206-6328



マイナンバーカードの保険証利用(マイナ保険証)

現行の健康保険証の新規発行は12月2日(月)で終了しますので、マイナ保険証をぜひご利用ください。発行済みの保険証は最大1年間の経過措置があるほか、マイナ保険証を持たない方には申請によらず資格確認書が交付されます。

道庁国保医療課
TEL.011-206-6494



「MONOテク」北海道障害者職業能力開発校訓練生募集

MONOテク(道立高等技術専門学院)、北海道障害者職業能力開発校は、道が運営する職業訓練施設です。令和7年度の訓練生を募集しますので、ぜひご応募ください。

道庁産業人材課
TEL.011-204-5359



とびっきりの北海道の農泊体験を楽しみませんか!

自然・文化に触れてリフレッシュしたい方におすすめなのが、農山漁村に宿泊して、その地域ならではのグルメや体験を楽しむ田舎旅「北海道の農泊」です。詳細はウェブサイトをご覧ください。

道庁農村設計課
TEL.011-206-6490



道議会レポート

定例会の概要などをお伝えします。
令和6年第2回定例会(6/18~7/5)

定例会の概要

緊急に措置を要する経費について、所要の予算措置を講じるための令和6年度一般会計補正予算案と条例案7件、その他の案件6件が知事から提案され、可決・承認されました。

また、議員および委員会から提出された意見案9件が原案のとおり可決されました。

本会議では、知事などに対し、21人の議員が一般質問を行いました。

本会議・予算特別委員会の主な質問

次の取り組みなどについて議論されました。詳細はウェブサイトをご覧ください。

- 農業振興について
 - ・国の新たな基本計画に対し、本道農業の実情をどのように反映していくのか。
 - ・本道農業の生産基盤の強化をどのように進めていくのか。
- 観光振興を目的とした新税について
 - ・事業者や市町村、道民等への

理解促進を図るためにどのように対応していくのか。

- 子ども施策について
 - ・子ども計画の策定に向けて、どのように進めていくのか。
 - ・子育て支援に向けて、どのように対応していくのか。
- 北海道新幹線札幌延伸延期について
 - ・新たな枠組みとして創設する会議体により、北海道新幹線の札幌開業に向けてどのように取り組んでいくのか。
 - ・新駅建設の自治体とのこまめな連絡調整をどのように進めていくのか。
- 物価高騰対策について
 - ・経済対策の効果の調査・検証についてどのように考えているのか。
 - ・新たな経済対策を検討する考えはあるのか。
- 次世代半導体関連産業について
 - ・全道各地域への効果を波及させるため、どのように取り組むのか。
 - ・千歳川環境調査をどのように行うのか。

第146回北海道・東北六県議会議長会議を函館市で開催(5月15日)

本会議には北海道・東北六県の議長・副議長が出席し、全国都道府県議会議長会に提出する省庁等への要望議案などについて審議が行われました。北海道における開催は、コロナ禍による書面開催を除くと、平成29年以来7年ぶりとなりました。



定例会のお知らせ

令和6年第4回定例会は11月下旬に開会の予定です。議事中継はスマートフォンでもご覧いただけます。

ウェブサイトをご覧ください

議事中継・録画、議会日程、会議録、傍聴・見学案内、議会時報などをご覧いただけます。



北海道議会事務局
政策調査課
TEL.011-204-5691

抽選で20名様に当たる!

おいしい道産品プレゼント

JAあさひかわ「特別栽培米ゆめぴりか・イエスクリーン米ななつぼし 各1kg」

北海道の米どころ・旭川から、有機肥料を使用し農薬の削減にとことんこだわった「ゆめぴりか」と、化学肥料・化学合成農薬の低減に努めた安心安全な「ななつぼし」のセットです。



応募期限/11月29日(金)必着

応募方法

本紙へのご意見・ご感想(今回の掲載内容について)、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。

応募先

〒060-8588(住所不要)北海道広報広聴課
「広報紙11月号 おいしい道産品プレゼント」係

右の二次元コードからも応募いただけます。応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。



次号のお知らせ

次号は12月19日(木)に配布予定です。

令和6年8月末時点
北海道の総人口

5,058,193人(前年同月より50,343人減)

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。



この広報紙は環境に優しい植物性インキを使用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

広告掲載を希望される場合は、道庁広報広聴課へお問い合わせください。

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL.011-204-5110 FAX.011-232-3796

エゾシカとの接触事故、備えられていますか?



55.8万円*1
エゾシカとの衝突事故によるお車の平均修理費

4,480件*1
平成29年と比較した令和4年の発生件数は2倍

*1 日本損害保険協会北海道支部公開情報より

東京海上日動の「車両保険」*2ならエゾシカとの接触事故にも備えられます!

*2 「一般条件」の他、「エコノミー(自動車・乗用具等+A)」でも対象になります。

0108-ET28-B23083-202311



東京海上日動

東京海上日動火災保険株式会社 札幌支店 金融公務チーム
札幌市中央区大通西3-7 北洋大通センター17階 電話:011-271-7285
www.tokiomarine-nichido.co.jp/ 東京海上日動HPはこちら



東京海上日動

信じられる、安心を。

Total assist

自動車保険

代理店無料相談

オンライン申込み

二次元コードから専用サイトにアクセス



※ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。適用できる特約等には一定の条件がある場合があります。ご不明な点等がある場合は、代理店または東京海上日動までお問い合わせください。

※この広告は、広告主の責任において掲載しております。